

第7章 みんなでつくる環境首都

第1節 環境教育・環境学習の充実

1 環境教育・環境学習の充実

(1) 取組

①「環境首都とくしま創造センター（エコみらいとくしま）」の開設

「環境首都とくしま」の実現を目指し、地球温暖化

対策をはじめとした各種環境施策や環境活動を一元的にバックアップするとともに、環境学習や環境教育を総合的にサポートするための「産・学・民・官」の連携・協働による本格的な環境活動拠点として、平成22年4月に「環境首都とくしま創造センター（エコみらいとくしま）」を開設し、このセンターを中心に、県民総ぐるみによる環境活動や環境学習の推進に取り組んでいます。

環境首都とくしま創造センター(エコみらいとくしま)の概要

開設時期	平成22年4月1日
開設場所	徳島市新西浜町2丁目3-102（平成29年4月22日移転）
面積・施設等機能	1階 事務室53.0m ² 、会議室109.0m ² 、エコカフェ36.0m ² 2階 会議室100.0m ² 駐車場50台分
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 徳島県と特定非営利活動法人環境首都とくしま創造センターが協働で運営 「環境学習・教育機能」、「普及啓発機能」、「環境活動支援機能」、「地域交流機能」、「地域防災機能」の5つの機能を一箇所に集約して、環境活動連携拠点として移転し、パワーアップオープンした。 子どもから高齢者まで、すべての世代が、気軽に環境について学べることや、あらゆる方々が、環境を合い言葉に、「集い・語らい・共に行動する」ことができる場を目指す。
環境学習・教育機能 「学べる」	<ul style="list-style-type: none"> とくしま環境首都学校を開設し、各種講座や体験型教室の開催。 出前授業の実施や環境アドバイザーの派遣。
普及啓発機能 「伝える」	<ul style="list-style-type: none"> 「地球温暖化防止」や「3R推進」等の啓発イベントの開催。 県内各地における移動パネル展の実施。
環境活動支援機能 「拡がる」	<ul style="list-style-type: none"> 環境普及啓発グッズや教材の貸出。 産・学・民・官が協働で実施する様々な環境活動の助言等、幅広く支援。
地域交流機能 「集まる」	<ul style="list-style-type: none"> 環境団体の研修会等に使用できる会議室貸出。 県民が気軽に交流できるオープンスペース「エコカフェ」の設置。
地域防災機能 「備える」	<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害発生時の一時避難所としてのスペースを確保。 一時避難所として防災用品の備蓄。
地球温暖化防止活動推進センター機能	<p>本県における地球温暖化防止に関する「啓発・広報活動」、「調査・分析活動」「情報提供」「民間団体の活動支援」等を総合的に支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化防止活動推進員等の活動支援 家庭部門や民生業務部門での温室効果ガス削減活動を支援 「クリーンエネルギーの導入」「低炭素交通システムの推進」「カーボンオフセットの推進」等の活動支援 <p>※地球温暖化対策推進法に基づき、地球温暖化対策に関する普及啓発等の推進主体として「特定非営利活動法人環境首都とくしま創造センター」を地域・地球温暖化防止活動推進センターに指定。</p>

②「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」に基づく取組

環境保全に対する県民意識を高め、環境保全活動への参加を促していくためには、長期的な視野に立った環境教育や環境学習の推進が必要です。本県では、県民・事業者・行政が連携・協働して環境学習を総合的・体系的に進めるため、「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」を平成17年12月に策定しました。

県としては、この方針に基づき、平成28年度においては次の施策を実施しました。

(ア) 環境学習実践モデル事業

「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」の方針を踏まえ、平成19年3月に作成された「とくしま環境学習プログラム」を活用したモデル的な取組に対し、支援を行いました。

県内の4団体が「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」で示された本県で重点的に取り組むべき分野である「ごみ」「生きもの」「水環境」「太陽（エネルギー・地球温暖化）」をテーマに「とくしま環境学習プログラム」を活用した環境学習を行い、「とくしま環境学習フォーラム」（平成29年1月開催）でその成果を発表しました。



とくしま環境学習フォーラム

(ウ) こどもエコクラブ事業

環境省が進める「こどもエコクラブ事業」は幼児（3歳）から高校生まで誰でも参加できる環境活動です。参加した子どもたちは、自然観察や調査、リサイクル活動など、地域の中で身近にできる環境活動に自由に取り組みます。平成28年度には県内で6クラブ188人が組織されて、各地域で活動を展開しました。

(エ) 佐那河内いきものふれあいの里の自然環境学習

佐那河内いきものふれあいの里は、指定管理者であるNPO法人大川原が自然観察指導員による自然環境学習を実施しています。その内容としては、野鳥の観察会、低山ハイキング、動植物の観察など様々なメニューがあります。また、小中学校や民間団体などに対する環境学習も行っています。

(イ) 環境首都 あどふと・エコスクール

互いに連携・協働しながら主体的に行動する人材の育成のため、道路や河川で行われているアドプト（養子縁組）方式を学校の環境学習活動に適用し、「地域の人づくりを地域の企業等が支える」という考えのもと、事業者・民間団体が「里親」となり、「養子」である学校の環境学習活動を支援する制度「環境首都 あどふと・エコスクール」を平成19年度に創設しました。平成28年度からは徳島市応神中学校と大塚製薬・大塚化学・大鵬薬品工業の3社とが養子縁組の協定に基づき、3社からの人材派遣や教材費等の支援により、学校から出るゴミの減量化や循環型社会についての学習を効果的に実施することができました。

表4-1-1 自然観察会等の実施状況

学習内容	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
自然観察会	28	505	33	575	31	605
団体等観察会	23	812	26	837	18	679
計	51	1,317	59	1,412	49	1,284



環境首都 あどふと・エコスクールでの出前授業

(オ) 環境アドバイザーの派遣

環境に関する専門家を環境アドバイザーとして任命し、県民や事業者の皆さんが自主的に実施する講演会や学習会、地域活動などに派遣しています。平成28年度には40名の方を環境アドバイザーとして任命し、76回派遣しました。



表4-1-2 平成28年度徳島県環境アドバイザー派遣状況

年月日	派遣場所	内 容	参加人数
平成28年5月10日	徳島市立八万東保育所	ネイチャーゲーム	27
平成28年5月11日	徳島市立丈六保育所	ネイチャーゲーム	35
平成28年5月17日	羽ノ浦くるみ保育所	ネイチャーゲーム	35
平成28年5月19日	吉野川河口干潟	吉野川河口干潟の生物の観察	139
平成28年5月19日	徳島市立川内保育所	ネイチャーゲーム	21
平成28年5月22日	徳島中央公園	自然観察（植物・昆虫）	16
平成28年5月25日	小松島市立さかの認定こども園	ネイチャーゲーム	17
平成28年6月3日	徳島市川内南小学校	ごみの分別・処理, 3Rの活動推進について	41
平成28年6月3日	阿南市立羽ノ浦小学校	水の環境循環について	107
平成28年6月8日	藍住町立藍住東小学校	3R活動推進について	69
平成28年6月8日	羽ノ浦さくら保育所	ネイチャーゲーム	53
平成28年6月9日	藍住町正法寺川	野鳥観察	113
平成28年6月11日	小松島市総合福祉センター	消費と環境について	20
平成28年6月15日	上板町立神宅小学校	3R活動推進について	71
平成28年6月15日	徳島市立八万保育所	ネイチャーゲーム	26
平成28年6月22日	あすたむらんど徳島	ごみの分別・省エネ対策・グリーン購入について	72
平成28年6月23日	美馬市立江原南小学校	地球温暖化防止対策について	75
平成28年6月23日	徳島市応神小学校	3Rについて	34
平成28年6月23日	日清紡ペーパープロダクツ	生物多様性の基本的内容について	18
平成28年6月28日	ひらだにこども園	ネイチャーゲーム	19
平成28年6月29日	阿南市立富岡小学校	生物多様性の保全について	9
平成28年6月29日	沖洲マリナーミナル	消費生活と環境について	36
平成28年7月1日	阿南市立宝田幼稚園	ネイチャーゲーム	35
平成28年7月5日	なかなかの森	なかなかの森環境学習	27
平成28年7月6日	鳴門市桑島小学校	地球温暖化について	33
平成28年7月7日	阿波市立柿原小学校	3R活動推進について	35
平成28年7月13日	鳴門市林崎小学校	3R活動推進について	58
平成28年7月19日	阿南市立桑野保育園	ネイチャーゲーム	22
平成28年7月23日	北島町立図書館	植物採集講座	32
平成28年7月28日	徳島市立渭東保育所	ネイチャーゲーム	24
平成28年8月7日	上板町東老人集会所	くらしと環境について	26
平成28年9月7日	阿南市立宝田小学校	地球温暖化防止対策について	33
平成28年9月14日	徳島市立渭東保育所	ネイチャーゲーム	22
平成28年9月16日	徳島市立津田保育所	ネイチャーゲーム	18
平成28年9月21日	阿南市立新野幼稚園	ネイチャーゲーム	24
平成28年9月28日	羽ノ浦さくら保育所	ネイチャーゲーム	14
平成28年10月6日	吉野川市鴨島小学校	3R活動推進について	64
平成28年10月6日	佐那河内保育所	ネイチャーゲーム	31
平成28年10月11日	徳島市立国府保育所	ネイチャーゲーム	14
平成28年10月15日	吉野川河口干潟	吉野川河口干潟の生物の観察	115
平成28年10月18日	美波町立由岐小学校	ゴミの分別と地域の環境について	19
平成28年10月21日	美馬市立重清東小学校	3R活動推進・買い物ゲーム	24
平成28年10月26日	羽ノ浦すみれ保育所	ネイチャーゲーム	22
平成28年10月27日	阿南市立富岡幼稚園	ネイチャーゲーム	29
平成28年10月27日	吉野川市立川田中小学校	ネイチャーゲーム	16
平成28年10月27日	阿波市立八幡小学校	3R活動推進について	47
平成28年11月1日	徳島市助任小学校	ネイチャーゲーム	13
平成28年11月1日	徳島市助任小学校	防災とエコについて	136

年月日	派遣場所	内 容	参加人数
平成28年11月2日	徳島市渭東公民館	ネイチャーゲーム	15
平成28年11月7日	徳島市シビックセンター	くらしと環境について	25
平成28年11月9日	阿南市立宝田保育所	ネイチャーゲーム	35
平成28年11月9日	阿南市立新野幼稚園	ネイチャーゲーム	20
平成28年11月9日	阿南市立富岡小学校	生物多様性の保全について	10
平成28年11月10日	徳島市立川内保育所	ネイチャーゲーム	22
平成28年11月11日	ひらだにこども園	ネイチャーゲーム	18
平成28年11月14日	藍住町正法寺川	体験型ふるさとの川環境観察学習会	108
平成28年11月16日	徳島市立国府保育所	ネイチャーゲーム	34
平成28年11月17日	丈六保育所在宅育児家庭相談室	ネイチャーゲーム	34
平成28年11月22日	佐那河内保育所	ネイチャーゲーム	31
平成28年11月30日	小松島市立さかの認定こども園	ネイチャーゲーム	19
平成28年12月1日	松茂町立喜来小学校	3R活動推進について	28
平成28年12月2日	阿南市勤労女性センター	地球温暖化の現状と生態系への影響について	28
平成28年12月8日	松茂町保健相談センター	消費生活と環境について	50
平成28年12月15日	吉野川市川田中小学校	ネイチャーゲーム	16
平成28年12月15日	吉野川市立川田西学校	ネイチャーゲーム	16
平成28年12月23日	徳島中央公園	自然観察（植物・昆虫）	16
平成29年1月10日	徳島市立八万東保育所	ネイチャーゲーム	27
平成29年1月18日	羽ノ浦すみれ保育所	ネイチャーゲーム	36
平成29年1月24日	阿南市立富岡幼稚園	ネイチャーゲーム	27
平成29年2月8日	阿南市立新野幼稚園	ネイチャーゲーム	40
平成29年2月13日	徳島市立津田保育所	ネイチャーゲーム	24
平成29年2月14日	羽ノ浦くるみ保育所	ネイチャーゲーム	72
平成29年2月16日	徳島市立八万保育所	ネイチャーゲーム	51
平成29年2月17日	阿南ひまわり会館	食品ロスの現状とこれからの消費生活のあり方について	24
平成29年2月22日	神山町上分公民館	川を守り水を活かした町づくりについて	30
平成29年3月8日	吉野川市立川田西小学校	ネイチャーゲーム	16

(カ) ビオトープアドバイザーの派遣

ビオトープの専門家をビオトープアドバイザーとして任命し、市町村・事業者及び各種団体等が開催するビオトープの保全・創出に関する学習会や説明会等に派遣し、ビオトープへの取組についての基本的な考え方を指導し、また地域の合意形成や具体的な企画立案等を効率的に進めています。平成26年度には14名の方をビオトープアドバイザーとして任命し、4回派遣しました。（派遣状況は第2部第4章第1節表4-1-3）

(キ) 環境学講座等の開講

環境首都とくしまの実現に向け、産学民官が連携・協働し、県民総ぐるみで環境活動に取り組むため、その主体となる、環境に関する高い意識と行動規範・実践力を持つ人材を養成するため、県民を対象とした「とくしま環境学講座」を開講しました。（表4-1-3）

表4-1-3 平成28年度とくしま環境学講座開催状況

年月日	講座名	参加者数
平成28年7月17日 ～11月26日	とくしま環境学講座「親子環境学習」	442名
平成28年5月27日 ～12月5日	とくしま環境学講座「環境学習出前授業」	1,840名



出前講座

(2) 今後の取組

「環境首都とくしま創造センター（エコみらいとくしま）」を中心に、平成17年12月に策定した「徳島県環境学習推進方針～とくしま環境学びプラン～」に基づき、環境学習プログラムの普及や環境講座の開設などにより、環境学習を総合的・体系的かつ効果的にすすめるとともに、各主体の連携・協働を推進します。

また、環境アドバイザーやビオトープアドバイザーの派遣などにより、地域における環境活動を支援します。

さらに、「環境首都 あどぶと・エコスクール」などにより、実践的な環境学習活動を推進します。

併せて、県をはじめとした行政や、教育機関、環境団体、企業が実施する環境に関する各種講座や催しなどについて、一元的に情報を収集し、提供する仕組みづくりを行います。

平成28年度末には、小・中学校、高等学校、特別支援学校の82.7%の学校が「新学校版環境ISO」の認証を取得し活動をしています。



各学校における活動の様子

2 学校における環境教育・環境学習の推進

(1) 現状

各学校においては、環境教育を教育目標に位置づけ、児童・生徒の発達段階に応じて、社会科、理科、家庭科などの各教科や道徳、特別活動、総合的な学習の時間など、学校の教育活動全体を通じて系統的・計画的に環境教育を行っています。

県としては、平成16年度から児童・生徒・教職員が一体となった継続的かつ自立的な環境保全活動を推進する本県独自の「学校版環境ISO」認証システムを構築し、「学校版環境ISO」の認証取得を推進することで、環境教育の充実を図ってきました。平成24年度からは、これまでの取組を家庭や地域に波及させていく「新学校版環境ISO」に移行を始め、平成27年度末に移行を完了しました。

また、地球温暖化対策の一環として、徳島冬のエコスタイル「新春書き初め」の募集を行っています。

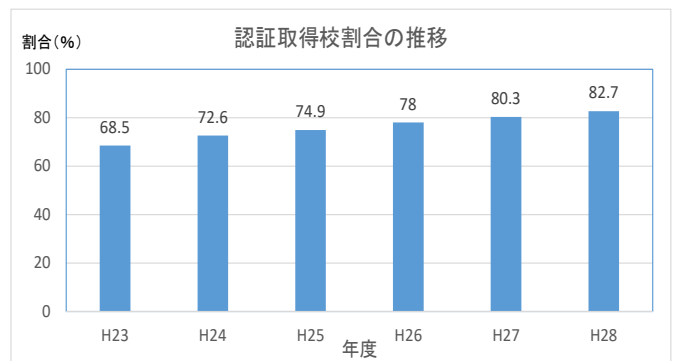
(2) 取組

①環境・エネルギー教育推進事業

(ア) 「新学校版環境ISO」認証取得の推進

平成24年度から移行した「新学校版環境ISO」では、従来の学校における節電・ごみ分別・リサイクル活動などに継続的に取り組むとともに、これらの取組を地域に広げ、児童・生徒が地域に出向いて、環境美化活動や自然観察などの体験活動を積極的に行い、学校での環境学習で学んだことを、家庭や地域にも波及させていくことを目的としています。

実施校は、必須項目（節電・ごみ分別・リサイクル活動）と、選択項目（①地域に広げる節電・ごみ分別・リサイクル活動、②地域に出向き深める環境保全・環境美化に関する活動、③地域に関連したテーマを選び、深めていく環境学習活動、④その他運営委員会がふさわしいと認めたテーマによる活動）から1つ以上を選択し、地域や学校の状況に応じた取組を推進します。認定されると認定証（3年間有効）が交付されます。



(イ) エコリーダー養成講座の開催（平成28年度）

「新学校版環境ISO」の認証取得を目指す学校の環境教育担当の教員などに対して、認証システムの説明や環境教育に関する実践事例集の紹介をするとともに、各学校における環境教育の実践について情報交換などを行いました。また、「ESDの学校での展開について」を表題として、持続可能な開発のための教育についての講演を行いました。（参加者数96名）



エコリーダー養成講座

(ウ) 環境・エネルギー教育発表会の開催（平成28年度）

「新学校版環境ISO」認証式、「環境・エネルギー教育推進事業」表彰式に引き続いて、阿南市立津乃峰小学校と小松島市小松島中学校の2校が実践発表を行いました。

また、「生物多様性保全の意義とは」をテーマとして、東京湾の環境やまちづくり、海と人、人と人のつながりについての講演を行いました。

(参加者数 133名)



環境・エネルギー教育発表会

②徳島冬のエコスタイル関連事業

(ア) 徳島冬のエコスタイル「新春書き初め」(平成28年度)

年の初めにあたり、次の世代を担う子供たちに、地球温暖化防止の大切さを考えてもらう契機とするため、児童・生徒から「地球温暖化防止」にちなんだ書き初め作品を募集しました。

優秀作品については知事賞等を授与するとともに、県庁1階県民ホールや徳島阿波おどり空港、徳島県立総合教育センターに展示し、県内外に発信しました。(応募作品数 8,115点)



徳島冬のエコスタイル「新春書き初め」表彰式

3 循環型社会に向けた活動の推進

環境への負荷の少ない持続的発展が可能な循環型社会の構築に向けて、国民一人ひとりの環境保全に係る意識の高揚を図るため、環境月間・3R推進月間に県民や事業者、各種民間団体の協力のもと、さまざまな行動を行いました。

(1) ごみゼロの日キャンペーンの実施

環境美化に対する意識を高めるため、平成13年度から5月30日の「ごみゼロの日」を中心に、「ごみゼロの日キャンペーン」を実施しています。関係機関や団体、事業所、学校に身近な場所での清掃活動を呼びかけ、平成28年度は253団体83,638人が活動に参加しました。

(2) 「買い物で発生するごみの減量化」の推進

消費生活スタイルを見直すことでごみ減量と循環型社会の形成を推進するため、平成28年10月～11月に、マイバッグ持参によるレジ袋削減を呼びかける「とくしまマイバック持参キャンペーン」を人の集まるイベントに併せて実施しました。

(3) 今後の取組

「新学校版環境ISO」認証取得校の取組や環境教育に関する資料をホームページ等から情報提供することで、「新学校版環境ISO」認証取得をより一層進め、さらに学校での環境学習の学びを家庭や地域へ波及させていきます。

また、エコリーダー養成講座を開催し、環境教育の指導者の養成を通して、児童・生徒が環境問題の解決に向けて取り組む力を育成するとともに、実施校が取組や成果を発表する場として、環境・エネルギー教育発表会を開催し、環境教育の推進を支援します。

さらに、徳島冬のエコスタイル「新春書き初め」の募集や展示を通して、省エネ・省資源の取組をより広く呼びかけていきます。